

第6学年外国語科学習指導案

令和5年11月29日（水）第5校時

1 単元名 NEW HORIZON Elementary 6 Unit 6 Let's think about our food.

2 単元について

本単元では、世界と日本との関係を知り、食材を通じた世界のつながりや食べ物の栄養素などについて学ぶ。

言語材料としては、Unit 4の「I ate ～.」やUnit 2の「I usually eat ～.」が既習内容であるが、英語で産地を表す表現「～is/are from・・・.」と食材の栄養素がどのグループに入るかを表す表現「～is in the・・・group」は新しい学習内容である。児童の興味・関心に沿ってこれらの新しい表現に出会わせ、視覚や聴覚で何度もインプットさせた上で、それらの表現を使い、自分の思いや考えを相手に伝えられるようにする。

頻度を表す usually は、Unit 2の「日常生活について伝え合おう」で学んでいるため、使える児童が多いと思われる。しかし、児童にとって、産地を伝える表現は動詞の使い方が難しい。また、栄養素のグループを伝える際、in を使って表現することも難しい。そこで、視覚や聴覚で何度もそれらの表現に出会わせ、日本語を介することなく段階的に定着させていく。

単元の最後には、日本に来てまだ半年の ALT に、自分のよく食べているメニューの中でおすすめのメニューを、食材の産地や栄養素のグループの情報を入れながら伝えるという活動を設定した。家庭科や社会科で学んだ学習内容を想起させながら、日常生活と繋げて取り組むことができる本物に近い活動でもある。相手意識をもって積極的にコミュニケーションを図り、ALT や友達に自分のよく食べるものやおすすめのメニューを、その産地や栄養素のグループの情報を入れながら紹介する活動を通して、コミュニケーションを取ることの楽しさを感じさせたい。

3 児童の実態について

*省略

4 指導について

外国語の授業を通して、人とコミュニケーションをとることの楽しさを感じさせ、「英語ができた、分かった、通じた」という経験を積み、「英語が楽しい、好き」という児童を育てたい。アンケートから見えた児童の実態をふまえ、話すこと（発表）を難しいと感じている児童に対する手立てとして、毎時間 Small Talk を行い、英語表現を何度も繰り返し、段階的に表現に慣れ親しませることで定着を図る。新出単語をピクチャーディクショナリーで学ぶ活動を難しいと感じている児童もいる。その理由として、発音が難しい、リピートが速いなどが考えられる。発音練習をする前に、デジタル教科書や ALT の発音を聞かせ、教師の後に続いて発音する際は、最初はゆっくりと、発音が難しい単語は何度も繰り返すことで、苦手意識をなくしていけるようにする。ペア活動は児童と児童、児童と ALT など、相手を変えながら何度も繰り返し練習することで定着を図り、自信をもたせるようにする。最後は、ALT や友達の前で自分の気持ちや考えを発表できるようにする。単元のゴールに向かって様々な活動を繰り返すことで、正しい英語表現、語順、音声を身に付けさせたい。

また、アンケートの中の「英語で何ができるようになりたいか。」という項目で、「会話を続けたい」という児童が多数いたことから、各単元で新出の表現だけではなく、既習の表現も取り入れて、やり取りを続けられるように Small Talk や Let's Try で指導していく。会話活動を行う際は、机間指導を行い、言えない児童がいたら手助けをし、よい発話があれば全体で共有、称賛するようにし、自信を持たせるようにする。

5 単元の目標

日本に来てまだ半年の ALT に、自分のよく食べているメニューの中でおすすめのメニューを、食材の産地や栄養素のグループなどの情報を入れながら伝えることができる。

- ・日本に来てまだ半年の ALT に、おすすめのメニューを紹介するために、食材の産地や栄養素のグループの表し方を知って、話したり、書いたりすることができる。 〈知識及び技能〉
- ・日本に来てまだ半年の ALT に、おすすめのメニューを紹介するために、食材の産地やどの栄養素のグループに入るかについて、簡単な語句や基本的な表現を用いてお互いの思いや考えを伝え合ったり、聞き手に配慮しながら話したり、書いたりする。 〈思考力、判断力、表現力等〉
- ・日本に来てまだ半年の ALT に、おすすめのメニューを紹介するために、食材の産地やどの栄養素のグループに入るかについて、簡単な語句や基本的な表現を用いてお互いの思いや考えを伝え合ったり、聞き手に配慮しながら話そうとしたり、書こうとしたりする。 〈学びに向かう力、人間性等〉

6 単元の評価規準

(本単元における「聞くこと」及び「読むこと」については、目標に向けての指導は行うが、本単元内で記録に残す評価は行わない。)

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
話すこと 「やり取り」 ㊦	<p><知識> ①I ate ～., I usually eat～., ～is/are from・・・., ～is/are in the・・・group.の表現について理解している。</p> <p><技能> ②食材を通じた世界とのつながりや食べ物の栄養素などについて、I ate ～., I usually eat ～., ～ is/are from・・・., ～is /are in the・・・group.を用いて、お互いの考えや気持ちなどを伝え合う技能を身に付けている。</p>	<p>①日本に来てまだ半年の ALT の先生に、おすすめのメニューを紹介するために、食材の産地やどの栄養素のグループに入るかについて、簡単な語句や基本的な表現を用いてお互いの思いや考えを伝え合っている。</p>	<p>①日本に来てまだ半年の ALT の先生に、おすすめのメニューを紹介するために、食材の産地やどの栄養素のグループに入るかについて、簡単な語句や基本的な表現を用いてお互いの思いや考えを伝え合おうとしている。</p>
話すこと 「発表」 ㊦	<p><知識> ①I ate ～., I usually eat～., ～is/are from・・・., ～is/are in the・・・group.の表現について理解している。</p> <p><技能> ②食材を通じた世界とのつながりや食べ物の栄養素などについて、I ate ～., I usually eat ～., ～ is/are from・・・., ～is/are in the・・・group.を用いて、話す技能を身に付けている。</p>	<p>①日本に来てまだ半年の ALT の先生に、おすすめのメニューを紹介するために、食材の産地やどの栄養素のグループに入るかについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて聞き手に配慮しながら話している。</p>	<p>①日本に来てまだ半年の ALT の先生に、おすすめのメニューを紹介するために、食材の産地やどの栄養素のグループに入るかについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて聞き手に配慮しながら話そうとしている。</p>

書くこと (書)	<p><技能></p> <p>①食材を通じた世界とのつながりや食べ物の栄養素などについて、I ate ～., I usually eat～., ～is/are from, ～is/are in the group.を用いて、産地や栄養素のグループなどを書く技能を身に付けている。</p>	<p>①日本に来てまだ半年のALTの先生に、おすすめのメニューを紹介するために、食材の産地やどの栄養素のグループに入るかについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて例文を参考に書いている。</p>	<p>①日本に来てまだ半年のALTの先生に、おすすめのメニューを紹介するために、食材の産地やどの栄養素のグループに入るかについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて例文を参考に書こうとしている。</p>
-------------	---	---	--

7 単元計画 (8時間)

時	◆目標・○活動	評 価			
		知・技	思・判・表	態度	
1	<p>◆食べたものやそれらの産地についてのやり取りのおおよその内容を理解する。</p> <p>○挨拶をする。</p> <p>○単元の目標、本時のめあての確認をする。</p> <p>○Let's Sing、Let's Chant</p> <p>○Word Link ピクチャーディクショナリーを使って食べ物や食材、食事の単語を確認する。</p> <p>○Small Talk ALT とのやり取りを聞き、その後ペアで行う。 S1: What did you eat for dinner last night? S2: I ate ～.</p> <p>○Starting Out No.1 と No.2 の英語を聞いて、食べたものやそれらの産地について、分かったこと、気づいたことをワークシートに記入する。</p> <p>○振り返りを記入する。</p>				<p>◎評価規準<評価方法></p> <p>☆本時では、目標に向けて指導を行うが、記録に残す評価は行わない。</p>
2	<p>◆食べたものやそれらの産地についてのやり取りのおおよその内容を理解する。</p> <p>○挨拶をする。</p> <p>○単元の目標、本時のめあての確認をする。</p> <p>○Let's Sing、Let's Chant</p> <p>○Word Link ピクチャーディクショナリーを使って食材や果物、野菜の単語を確認する。</p> <p>○Small Talk ALT とのやり取りを聞き、その後ペアで行う。 S1: What do you usually have for breakfast?</p>				<p>◎評価規準<評価方法></p> <p>☆本時では、目標に向けて指導を行うが、記録に残す評価は行わない。</p>

	<p>S2: I usually have ～.</p> <p>○Starting Out</p> <p>No.3, No.4. No. 5 の英語を聞いて、食べたものやそれらの産地について、分かったこと、気づいたことをワークシートに記入する。No.1～No.5 の映像を視聴する。</p> <p>○振り返りを記入する。</p>				
3	<p>◆自分のよく食べるメニューに使われている食材の産地について伝え合う。</p> <p>○挨拶をする。</p> <p>○単元の目標、本時のめあての確認をする。</p> <p>○Let's Sing、Let's Chant</p> <p>○Word Link</p> <p>ピクチャーディクショナリーを使って食べ物、食材の単語を確認する。</p> <p>○Small Talk</p> <p>S1: What did you eat for breakfast this morning?</p> <p>S2: I ate ～.</p> <p>○Let's Listen①</p> <p>○Let's Try②</p> <p>○振り返りを記入する。</p>				<p>☆本時では、目標に向けて指導を行うが、記録に残す評価は行わない。</p>
4 本 時	<p>◆自分のよく食べるメニューに使われている食材がどの栄養素のグループに入るのかについて伝え合う。</p> <p>○挨拶をする。</p> <p>○単元の目標、本時のめあての確認をする。</p> <p>○Let's Sing、Let's Chant</p> <p>○Word Link</p> <p>ピクチャーディクショナリーを使って食材、果物、野菜の単語を確認する。</p> <p>○Small Talk 教科書 P5 6、5 7 を使う。</p> <p>S1: Where is/are the ～from?</p> <p>S2: ～ is /are from ……</p> <p>S1: How much is it?</p> <p>S2: It's ……yen.</p> <p>○Let's Listen②</p> <p>○Let's Try③</p> <p>○振り返りを記入する。</p>	<p>や</p> <p>①</p> <p>②</p>	<p>や</p> <p>①</p>	<p>や</p> <p>①</p>	<p>◎知識・技能</p> <p><知識></p> <p>①～is/are in the ……group.の表現について理解している。</p> <p><技能></p> <p>②食べ物の栄養素について、～is/are in the ……group.を用いて伝える技能を身に付けている。</p> <p><行動観察・振り返りシート></p> <p>◎思考・判断・表現</p> <p>①日本に来てまだ半年の ALT の先生に、おすすめメニューを紹介するために、食材の産地やどの栄養素のグループに入るかについて、簡単な語句や基本的な表現を用いてお互いの思いや考えを伝え合っている。</p> <p><行動観察・振り返りシート></p> <p>◎主体的に学習に取り組む態度</p> <p>①日本に来てまだ半年の ALT の先生に、おすすめメニューを紹介するために、食材の産地やどの栄養素のグループに入るかについて、簡単な語句や基本的な表現を用いてお互い</p>

					の思いや考えを伝え合おうとしている。 〈行動観察・振り返りシート〉
5	◆自分のよく食べるメニューに使われている食材の産地や栄養素のグループを紹介する文を作る。				
	<p>○挨拶をする。</p> <p>○単元の目標、本時のめあての確認をする。</p> <p>○Let's Sing、Let's Chant</p> <p>○Word Link ピクチャーディクショナリーを使って食材、果物、野菜の単語を確認する。</p> <p>○昨夜食べたもの、自分のよく食べるメニューに使われている食材の産地や栄養素グループを紹介する文を書き、その後、個人やペアで練習する。</p> <p>①I ate ~ last night. (昨夜食べたもの)</p> <p>②I usually eat~. (よく食べるもの)</p> <p>③~ is/are from (食材の産地)</p> <p>④~ is/are in the group. (食べ物の栄養素グループ)</p> <p>* + 2文まで書ける児童は書く</p> <p>○個人で練習する。</p> <p>○ペアで練習し、お互いに録画して、発表に向けて改善点を見つけ練習する。</p> <p>○振り返りを記入する。</p>	書	書	書	<p>◎知識・技能 食材を通じた世界とのつながりや食べ物の栄養素などについて、I ate ~., I usually eat~., ~is /are from, ~is/are in the group.を用いて、産地や栄養素のグループなどを書く技能を身に付けている。 〈教科書〉</p> <p>◎思考・判断・表現 ①日本に来てまだ半年のALTに、おすすめのメニューを紹介するために、食材の産地やどの栄養素のグループに入るかについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて例文を参考に書いている。〈教科書〉</p> <p>◎主体的に学習に取り組む態度 ①日本に来てまだ半年のALTに、おすすめのメニューを紹介するために、食材の産地やどの栄養素のグループに入るかについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて例文を参考に書こうとしている。〈教科書〉</p>
6	◆日本に来てまだ半年のALTに、自分のよく食べているメニューの中でおすすめのメニューを、食材の産地や栄養素のグループなどの情報を入れながら発表する。				
	<p>○挨拶をする。</p> <p>○単元の目標、本時のめあての確認をする。</p> <p>○ペアで練習する。</p> <p>○1人1人、前に来て、日本に来てまだ半年のALTの先生に、自分がよく食べているメニューの中で、食べてもらいたいおすすめのメニューを紹介するために、自分がよく食べているメニューに使われている食材の産地や栄養素のグループなどについて発表する。</p> <p>○振り返りを記入する。</p>	発	発	発	<p>◎知識・技能 ①I ate ~., I usually eat~., ~is/are from, ~is/are in the group.の表現について理解している。</p> <p>②食材を通じた世界とのつながりや食べ物の栄養素などについて、I ate ~., I usually eat~., ~is/are from, ~is/are in the group.を用いて、話す技能を身に付けている。〈パフォーマンス〉</p> <p>◎思考・判断・表現 ①日本に来てまだ半年のALTに、おすすめのメニューを紹介するために、食材の産地やどの栄養素のグループに入るかについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて聞き手に配慮しながら話している。 〈パフォーマンス〉</p> <p>◎主体的に学習に取り組む態度</p>

				①日本に来てまだ半年のALTに、おすすめのメニューを紹介するために、食材の産地やどの栄養素のグループに入るかについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて聞き手に配慮しながら話そうとしている。 <パフォーマンス>
7	◆日本と世界の食料事情について考え、世界と日本の文化に対する理解を深める。			
	○挨拶をする。 ○Let's Sing、Let's Chant ○Small Talk 広告を使う。 S1: Where is/are the~from? S2: ~ is/are from S1: What color group is/are ~ in? S2: The ~ is/are in the ... group. S1: How much is it? S2: It's~yen. ○Do you know? ○振り返りを記入する。			☆第4時から第6時の活動において、学びが不足しているところは定着を図るために、Small Talk で練習する。また、言語材料を適切に使えなかった場合、使用場面や使用方法に繰り返し触れることで、知識及び技能の定着を図る。
8	◆漢字熟語と英語について知り、スイスについて理解を深める。			
	○挨拶をする。 ○Let's Sing、Let's Chant ○ことば探検 ○世界のすてき ○振り返りを記入する。			☆本時では、目標に向けて指導を行うが、記録に残す評価は行わない。

8 本時の展開

目標 日本に来てまだ半年のALTの先生におすすめのメニューを紹介する目標に向けて、聞き手を常に意識しながら、既習の表現も活用し、自分のよく食べるメニューに使われている食材がどの栄養素のグループに入るのかについてALTや友達と伝え合うことができる。

準備 指導者用デジタル教科書・・・デ教、ピクチャーディクショナリー・・・ピ、

振り返りシート・・・振シ

○本時の展開（4／8）

時間	○児童の活動	・指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
1分	○挨拶をする、天気、気分、曜日、日にちななどの質問に答える。	・ALTと一緒にあいさつや質問をする。 ・個別に数名の児童に挨拶をする。	
2分	○単元の目標、本時のめあてを確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;">自分のよく食べるメニューに使われている食材がどの栄養素のグループに入るのかについて伝え合う。</div>	・本時のめあてを伝える。	振シ
4分	○Let's Sing "What did you eat?" Let's Chant "Are you hungry?"	・字幕を表示しながら一緒に歌う。	デ教

3分	<p>○Word Link</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ピクチャーディクショナリーで食材、果物、野菜の単語を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ALT の後に続いて、食材、果物、野菜の単語をリピートする。発音が難しい単語は何度か繰り返して練習する。 	ピ
5分	<p>○Small Talk</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書 P 5 6、5 7 を使い、食材の産地と値段をペアで話す。 <p>S1: Where is/are the ~ from? S2: The ~ is/are from S1: How much is it? S2: It's . . . yen.</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食材を変えて複数回対話をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ALT とモデル会話をする。 ・既習表現ではあるが、産地の聞き方・答え方、値段の聞き方・答え方を確認してからペアで対話をする。 	デ教
7分	<p>○Let's Listen②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音声を数回聞いて、食べ物がどの栄養素のグループに分けられるのかを書く。その後、解答を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・音声を聞く前に、家庭科で学習した3つの栄養素のグループと紙面の食材について確認する。 ・お米、鶏肉、トマトの3つの食材がどの栄養素グループに入るか、聞いてメモをする。つづりを書くのは後でもいいことを伝える。 ・ピクチャーディクショナリーを参照させながら4線の上に書かせる。 <div data-bbox="778 987 1310 1279" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>デジタル教科書の英語</p> <p>No.1 I usually eat tomato curry. Tomatoes are in the green group.</p> <p>No.2 I usually eat chicken curry. Chicken is in the red group.</p> <p>No.3 I usually eat curry with a lot of rice. Rice is in the yellow group.</p> </div>	デ教 ピ
20分	<p>○Let's Try③</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家でよく食べるメニューに使われている食材の栄養素のグループを伝え合う。隣、前後のペアで行う。 ・食材を変えて複数回対話をする。 <p>S1: What do you usually eat at home? S2: I usually eat curry and rice. Carrots, onions, beef, potatoes S1: What color group are carrots in? S2: Carrots are in the green group. S1: What color group are onions in? S2: Onions are in the green group. How about you? What do you usually eat at home?</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・まず指導者と ALT が、家でよく食べるメニューについて紹介し、数人の児童に、What do you usually eat at home? と投げかける。指導者と ALT はそのメニューに使われている食材をいくつか紹介する。 ・次に指導者と ALT で、スーパーの広告を見ながら、よく食べるメニューに使われている食材の栄養素グループを聞き合い、いくつかの食材についてのやり取りを聞かせ、児童にやり方を理解させるようにする。 ・ポイントを指導したあと、まずは、児童が使う機会を設定する。 ・会話をする時は、アイコンタクト、声の大きさ、スピードなど相手に配慮しながら話すことを意識するよう伝える。 ・児童の活動のあと、中間指導(1)を行う。 ①動詞や前置詞の in を入れて正確に言えて 	

<p>S1: I usually eat <i>ramen</i>. Pork, carrots, bean sprouts, Japanese leek, eggs . . .</p> <p>S2: What color group are eggs in? S1: Eggs are in the red group. S2: What color group are bean sprouts in? S1: Bean sprouts are in the green group.</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中間指導をふまえて、もう一度栄養素のグループについて会話する。 ・ 教員からのアドバイスを受け、間違いやすい点を意識しながら会話する。 	<p>いるかを確認する。 ②is や are の違いについては簡単に触れる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新出の表現だけでなく、既習の表現を使いながら会話を続けるように促す。 <p>◎知識・技能 <知識> ①～is/are in the . . . group.の表現について理解している。 <技能> ②食べ物の栄養素について、～is/are in the . . . group.を用いて伝える技能を身に付けている。 <行動観察・振り返りシート></p>	
<p>【知識・技能】 の評価基準</p> <p>A : ～is/are in the . . . group.の表現について正しく伝えることができる。</p> <p>B : ～is/are in the . . . group.の表現について伝えることができる。</p> <p>C : ～is/are in the . . . group.の表現について、教師の支援のもとで、伝えることができる。</p>		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 中間指導をふまえて、さらにもう一度栄養素のグループについて既習の表現を使いながら会話する。 <p>S1: What do you usually eat at home? S2: I usually eat curry and rice.</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中間指導（２）を行う。 <p>①既習の表現を使っている児童のやり取りに対しては全体に紹介し、活用を促す。 I like ～. Do you like ～? What is ～? Where is/are the ～ from? The ～ is/are from What else do you usually eat at home?</p> <p>②未習の表現を言いたい児童に対しては全体で取り上げる。</p> <p>③活動が滞っている場合は、ポイントを再確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新出の表現だけでなく、既習の表現を使いながら会話を続けるように促す。 ・ しっかりと相手意識をもたせて、相手のことを理解するためということを再度指導して行う。 	

<p>Carrots, onions, beef, potatoes . . .</p> <p>S1: Where are the carrots from?</p> <p>S2: The carrots are from Hokkaido.</p> <p>S1: What color group are carrots in?</p> <p>S2: Carrots are in the green group.</p> <p>Do you like curry and rice?</p> <p>S1: Yes, I do.</p> <p>S2: What do you usually eat at home?</p> <p>S1: I usually eat <i>ramen</i>.</p> <p>Pork, carrots, bean sprouts, Japanese leek, eggs . . .</p> <p>S2: What is bean sprout?</p> <p>S1: Bean sprout is <i>moyashi</i> in Japanese.</p> <p>S2: I see. Where are the bean sprouts from?</p> <p>S2: The bean sprouts are from Tochigi.</p> <p>S1: What color group are bean sprouts in?</p> <p>S2: Bean sprouts are in the green group. What else do you usually eat at home?</p> <p>S1: I usually eat <i>natto</i>.</p>	<p>◎思考・判断・表現</p> <p>自分のよく食べるものの産地や栄養素のグループを紹介するために、～is/are in the . . . group.や既習表現などを用いて伝えている。</p> <p><行動観察・振り返りシート></p> <p>◎主体的に学習に取り組む態度</p> <p>自分のよく食べるものの産地や栄養素のグループを紹介するために、～is/are in the . . . group.や既習表現などを用いて伝えようとしている。</p> <p><行動観察・振り返りシート></p> <p>・よりよいやり取りをしている児童を指名し、全体の前で発表させる。</p>	
<p>【思考・判断・表現】の評価基準</p> <p>A：聞き手を常に意識し、食材の栄養素のグループについて、自分のよく食べるものとそれらの産地などを、既習の表現も使いながら伝えている。</p> <p>B：聞き手を常に意識し、食材の栄養素のグループについて、自分のよく食べるものとそれらの産地などを、本時の表現を使いながら伝えている。</p> <p>C：食材の栄養素のグループについて、教師の支援のもとで、伝えている。</p>		
<p>【主体的に学習に取り組む態度】の評価基準</p> <p>A：聞き手を常に意識し、食材の栄養素のグループについて、自分のよく食べるものとそれらの産地などを、既習の表現も使いながら伝えようとしている。</p> <p>B：聞き手を常に意識し、食材の栄養素のグループについて、自分のよく食べるものとそれらの産地などを、本時の表現を使いながら伝えようとしている。</p> <p>C：食材の栄養素のグループについて、教師の支援のもとで、伝えようとしている。</p>		

3分	<input type="checkbox"/> 振り返りシートに記入する。 <input type="checkbox"/> 挨拶をする。	<ul style="list-style-type: none"> ・本時のねらいに照らして、児童の向上したことやよかった点を称賛する。 ・振り返りシートは児童の学習改善と教師の指導改善に活用する。 ・全体に挨拶をする。 	振シ
----	---	--	----

上記評価項目に満たず、本時で努力を要する状況（C）と評価した児童がいる場合は、概ね満足できる状況（B）に到達できるよう、次時以降も意図的に、対象児童を観察し、継続した指導や支援を行う。例えば既習語句や表現を用いて、まず指導者が自分のことを話した後に、児童に尋ねるなどして、語句や表現を十分に聞かせたり、使ったりする機会を設け、改善状況を見取る。